



庄内地区自作視聴覚教材発表会<10月10日(金)>

地域を学ぶ視聴覚教材を発表！

庄内視聴覚事業推進連絡会の標記発表会を鶴岡市中央公民館で開催しました。応募者の皆様と作品名を紹介します。

- | | |
|--|--|
| 1 「ウェルビーイングのすすめ～私の経験から～」(映像作品) 鶴岡市立鶴岡第一中学校 伊藤 千陽さん | |
| 2 「出羽三山のみか 羽黒山さよぐきたの」(映像作品) 鶴岡市立朝陽第四小学校 五十嵐悠人さん | |
| 3 「病を治す 西目のお釈迦様～鶴岡市・旧上郷村～」(紙芝居) 中村 淑子さん | |
| 4 「ひきがえるピョン太とかかしの物語」(紙芝居) ひもろぎ津さん | |

映像表現の工夫や家族の協力による温かさ、地域の魅力を再発見させる視点など、心に残る作品ばかりでした。参加者の感想を紹介します。

☆表題にある「私の経験から」を通して、社会との新たなつながり方を表現した作品だと思いました。

☆羽黒山の魅力を再発見できる映像でした。観光PRとしてたくさんの人に見てもらいたい作品だと思いました。

☆手描きのあたたかさ、作者の思いが伝わってきました。絵にも多くの工夫が施されていて、愛情のこもった作品でした。

☆鶴岡市下池が紙しばいの題材テーマの一部になっていて驚きました。声なき声を知る等崇高な精神に満ちた作品で勉強になりました。(担当：藤田)



子どもの読書活動推進研修会<10月23日(木)>

絵本って素敵！読み聞かせて素敵！

山形県家庭教育アドバイザーの渡邊裕子(わたなべ ゆうこ)氏を講師にお招きして、庄内町役場で標記研修会を開催しました。研修会前半は、「読書好きな子どもを育てる～子ども真ん中の読み聞かせ～」と題した講話と参加者同士の情報交換会を行いました。後半は、隣接する庄内町立図書館で開催中の「多様な子どもの読書活動理解促進イベント」を観覧し、ICT機器やさわる絵本などのアクセシブルな書籍を実際に体験しました。講話、情報交換会、イベントの体験を通して、子どもの立場に立った読書活動について改めて考えるよい機会となりました。参加者のアンケートから感想を紹介します。

☆先生のお話から子どもたちに無理やり読書を勧めるのではなく、自主性が大事だということがわかりました。

☆本に親しむことのよさや、子どもに向き合う時の心構えなどを改めて考えることができました。また、情報交換会で読書に関する取組みのアイデアをいただきました。

☆研修に参加すると、初心に戻って頑張る気持ちが湧いてきたり、同じような立場の方と情報交換することで発見があったりしてとても楽しいです。(担当：齋藤)



地域とともにある学校づくり研修会②<10月30日(木)>

学校と地域がつながる「ヒント」を探そう！

標記研修会を庄内総合支庁分庁舎で開催しました。遊佐町教育委員会社会教育アドバイザーの高橋 共之(たかはし ともゆき)氏から「地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくりに向けた遊佐町の取組み」というテーマで事例発表をしていただきました。

遊佐町では、「遊佐町民に元気(笑顔)を与え、元気(笑顔)をいただけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動」という目指す姿に向けて、地域と学校が連携・協働し、様々な活動を実践しています。

事例発表の後は、ワークショップを行い「事例発表についての感想」「普段の活動の紹介や日頃感じている課題や悩み」「これからどんなことができそうか」の3つについて話し合いました。どのグループも活発な意見交換が行われ、これからの活動につながるワークショップとなりました。参加者のアンケートから感想を紹介します。



☆コミュニティ・スクールを形式的に運営するのではなく、子どもの成長を核として地域全体で支えるという本質的な意義を再確認できました。

☆地域学校協働活動の会議等に子どもたちが参加することがとても良いです。委員の意見だけで運営するのではなく、子どもたちの意見も反映しながら進めることが大事だと感じました。

☆学生を取り込む場合、お手伝いや補助としてお願いするより、企画の中心に据えることでやる気や連帯感が生まれる場合があるということを学びました。(担当：櫻井)



家庭教育支援フォーラム②<11月6日(木)>

「PEP TALK！」を身に付けよう

標記研修会を庄内総合支庁分庁舎で開催しました。講師として、一般財団法人日本ペップトーク普及協会認定講師の小野 弘志(おの ひろし)氏をお招きして「子どもの心に響く励ましの言葉かけ～ペップトークを身に付けよう～」というテーマでご講演いただきました。

最初に『ペップトーカーになろう！ドリームサポーターになろう！(夢や希望を受けとめて、背中を押してあげる人)』という目指す姿を参加者と共有して始めました。ペップトークは①事実の受け入れ→②とらえ方変換→③して欲しい変換→④背中への押し順の順番に言葉を選んでいくこと、言葉以上に相手に印象を与えるものは、「動作・表情・姿勢」であること、ペップトークには4つのタイプがあり、相手に応じて使い分けていくのが大切だということなどを学びました。また、参加者同士で交流する場面も多くあり、とても明るく楽しい雰囲気でした。



講師のジェスチャーやユーモアを交えながらエネルギーにお話をする姿に、元気と勇気をもらい、明日からの活動の意欲付けとなる研修会となりました。参加者のアンケートから感想を紹介します。☆仕事でも我が子にも表情、動作を良くして、プラスな言葉を掛けてあげたいと思いました。

☆普段の保育の中でもどのように声をかけるべきか悩むことが多くあるため、とても勉強になりました。(担当：櫻井)



庄内教育事務所 社会教育課
【公式】Instagram
各種研修会、事業等の情報をお届けします！



庄内地区社会教育情報
ホームページはこちら！➡

